

tea^{vocal}
佐藤浩一^{piano}

2022 09月07日(水)

開場 19:30

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3300+2drinks order



tea

インド、プネ出身のシンガーソングライター。インドでプロシンガーとして活動後、2011年にアメリカのバークリー音楽大学に入学し、2013年同大学ソングライティング科を卒業。卒業後はBlue Note New YorkやSan Francisco Jazz Centerをはじめとする有名会場での出演や、ニューヨークでヴォイストレーナーとしても活躍。2015年にはイギリスの作曲コンテストUKSCのR&B/URBAN部門にて時枝弘との共作「I Will Bleed」がファイナリストに選ばれる。2016年から活動の拠点を日本に移し、翌年10月4日にはJUMP WORLDレーベルより自身初のフルアルバム「INTERSTELLAR」を発表。ジャズ、ポップス界のトッププレイヤー達が集結したその洗練されたサウンドは各方面で好評価を得て、同アルバムで2017年度ミュージックペンクラブジャパン音楽賞において新人賞を受賞。2019年3月と5月に配信のみでそれぞれ2曲、計4曲をリリース。2019年9月25日には、香港インターナショナル・ジャズ・フェスティバルに招かれる。2019年10月23日、ソニー・ミュージックレーベルズよりメジャーデビュー・アルバム「Unknown Places」をリリース。2022年11月01日には3枚目となるジャズアルバム「Songbird」をリリース予定。その他の主な活動としては、2016年より参加しているヴァイオリン奏者川井郁子のコンサートやTV出演などで、teaのヴォーカルは欠かせないものとなり現在に至っている。2022年度のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ではオープニング曲や挿入曲にヴォイスで参加。同年7月17日の放送からは、本編に続く大河紀行でもテルミン奏者竹内正実とのデュオでteaのヴォーカルがフィーチャーされた。2022年7月7日にリリースとなり話題を呼んだ叙情歌を現在に蘇らせるプロジェクトRED KIMONO PROJECTのアルバム「叙情歌 JOJOUKA」(15曲入り)では英語詞(元々英語詞の4曲を除く)と7曲の歌唱を担当。自身のライブ活動の他、ジャズからクラシックや民族音楽までカバーする才能を買われレコーディングやコラボレーション等に引く手数多となっている。

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



佐藤浩一

1983年生まれ。神奈川県横浜市出身。バークリー音楽大学卒業。ジャズ、ポピュラー、室内楽、ポストクラシカル、ポップス、映画音楽など幅広いフィールドで活動。繊細なタッチで研ぎ澄まされた音色を放つピアニスト。作曲家としても独自のメロディーセンス・ハーモニーセンスを持つ楽曲を多く発表。また編曲家としてもストリングスなどのオーケストレーションを探求。伊藤ゴロー、福盛進也、狭間美帆 m_unit、原田知世、象眠舎などにピアニストとして参加。2021年、全て自らの作曲による2枚組のアルバム『Embryo』をnagaluからリリース。ソロピアノによるDisc1と、弦楽カルテットを含むアンサンブルによるDisc2からなるこの作品で、唯一無二のピアノイズムと作曲家・編曲家としての魅力を存分に発揮。TVドラマ「絶対正義」(2019年)の劇中音楽の作曲・ピアノ演奏を担当。映画「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」(2020年)やゲーム「ジャックジャンヌ」(2021年)の劇中音楽のピアノ演奏を担当。